

令和元年度執行事務事業

施策名	基本事業	番号	事務事業名
ひとを集める観光戦略の展開	積極的な誘客を図る観光戦略の推進	1	例幣使道軸共同開発協議会参画事業
		2	両毛地域・東武鉄道観光誘客連絡会議参画事業
		3	栃木県観光物産協会参画事業
		4	栃木県アンテナショップ協議会参画事業
		5	栃木DESTINATIONキャンペーン促進事業
		6	全国へそのまち協議会参画事業
		7	佐野市観光協会自立支援事業
		8	佐野市観光協会支援事業
		9	佐野コミュニケーションセンター運営事業
		10	関東菊花競技大会開催支援事業
		11	観光事業者との連携強化事業
		12	観光パンフレット作成事業
		13	観光キャラバン事業
		14	観光PR車維持管理事業
		15	三轟山大文字焼き開催支援事業
		16	どまんなかフェスタ佐野開催支援事業
		17	スプリングフラワーフェスティバル開催支援事業
		18	さの秀郷まつり開催支援事業
		19	さの新春うんめえもんまつり開催支援事業
		20	観光立市推進事業
		21	オカリナの里づくり支援事業
		22	「本物の出会い 栃木」観光キャンペーン参画事業

事務事業名		例幣使道軸共同開発協議会参画事業				評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)						
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり				担当	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課				
	政策	1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり				組織	担当係	観光事業係	担当課長名	高橋 利彰				
	施策	1 ひとを集める観光戦略の展開				事業区分	新規事業・継続事業		継続事業					
	基本事業	1 積極的な誘客を図る観光戦略の推進					実施計画事業・一般事業		一般事業					
短縮コード	会計	款	項	目	市単独事業・国県補助事業		国県補助事業							
予算科目	10738	一般	7	1	4	例幣使道軸共同開発協議会参画事業				市単独事業・国県補助事業		国県補助事業		
事業計画	単年度繰り返し		事業期間	平成22年度～ 年度		根拠法令 条例等	なし				任意的事業・義務的事業		任意的事業	
							実施方法		直営		事業分類		参画事業	
							リーディングプロジェクト		該当		市長市政公約		5-③-1	

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)						
例幣使道軸共同開発協議会に会員として負担金を支出している。協議会主催の会議やイベントに参加することにより、広域的な観光PR、意見交換が図れる。 ※例幣使道軸共同開発協議会は例幣使道沿線の佐野市、足利市、栃木市、鹿沼市の4市及び観光協会で協議会を設置し、広域的な観光宣伝及び観光誘客を行っている。		(市の活動) ・幹事市としての協議会の事務遂行 ・総会への参加 ・ワーキンググループ会議への参加(3回) (例幣使道軸共同開発協議会の活動) ・令和元年度事務局・佐野市・総会の開催 ・ワーキンググループの開催(2回)・モニターツアー成果品作成業務委託 ・ポスター、パンフレットの作成						
		活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
		イベント開催数	回	0	1	0	1	1

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

全国の人口	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	国内の総人口(人口推計10/1)	千人	126,706	126,443	126,167		

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

佐野市への観光客の増加を図る	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	観光客入込数	千人	8,883	8,741	8,575	9,700	10,000

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

本市の魅力を知ってもらい、来訪、宿泊してもらおう。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	広域での連携事業数	事業	14	14	8	10	16

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費投入量	事業費の内訳	財源内訳	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)	
		国庫支出金	千円						
		県支出金	千円	200	200	148			
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	200	200	252	200	200	
		事業費計(A)	千円	400	400	400	200	200	
		項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
		負担金	400	負担金	400	負担金	400	負担金	200
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
	のべ業務時間	時間	120	120	120	120	120	120	
	人件費計(B)	千円	458	459	458	458	458	458	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	858	859	858	658	658		

事務事業名	例幣使道軸共同開発協議会参画事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	担当係	観光事業係
-------	------------------	-----	---------	-----	---------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	両毛地区広域行政推進協議会参画事業が終了となり、広域で観光振興を行う事業を継続し効率的な観光PRを実施するために開始された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	国の観光立国宣言により、県及び市の観光戦略が大きく変化し、各市でも観光誘客事業に重点を置き施策を行っている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	近隣4市で広域的に観光PRを行うことは、効果的な誘客が見込める。また、各市の情報を交換できるという点でも有益である。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	モニターツアーを実施しSNS上に発信したが、さらなる魅力発信にむけて首都圏JR各駅へ掲示するポスター、パンフレットを作成した。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	広域的な観光PR事業を行うことにより、広域的な魅力を発信するとともに、佐野市の観光資源の見所や時期、特産品、交通手段などの情報を提供することができ、佐野市への誘客が図れる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	佐野市、足利市、栃木市、鹿沼市の4市及び、4市観光協会で行っている広域的な事業であるため。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	首都圏から90分圏内を対象に、観光誘客を行い更なる誘客促進を行うものである。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	広域で連携し、戦略的な観光誘客を実施することで、成果の向上の余地がある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	必要最低限の予算である。予算に合わせてイベントの実施を行っている。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めめる必要がない	理由・改善案	協議会への参画により本市を広くPRすることができ、観光客の増加による経済効果(経済波及効果)の受益者は全市民であるため。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
4市の賛同が得られなくなったとき。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) パンフレットの作成等に留まっていたが、今後は街道観光を積極的に推進する。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下		×	×	予算の確保
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上			○																					
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		両毛地域・東武鉄道観光誘客連絡会議参画事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課
	政策	1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり					担当係	観光事業係	担当課長名	高橋 利彰	
	施策	1 ひとを集める観光戦略の展開					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 積極的な誘客を図る観光戦略の推進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	10732	一般	7	1	4	両毛地域・東武鉄道観光誘客連絡会議参画事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成17年度～ 年度		根拠法令等	なし					
	実施方法		直営		事業分類		参画事業				
	リーディングプロジェクト		該当		市長市政公約		5-③-1				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)					令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)						
両毛地域・東武鉄道観光誘客連絡会議へ会員として負担金支出。 総会や担当者会議への参加を通して各種観光誘客事業を実施。 * 両毛地域・東武鉄道観光誘客連絡会議とは、両毛地域への観光誘客促進を目的として、東武鉄道、両毛7市(佐野市、足利市、館林市、太田市、伊勢崎市、桐生市、みどり市)により構成している団体である。					(市の活動) 両毛地域・東武鉄道観光誘客連絡会議に負担金支出(800千円)、年5回の会議出席、首都圏キャンペーン等参加(2回)。他2回を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止(両毛地域・東武鉄道観光誘客連絡会議の活動) 年5回の会議開催、首都圏キャンペーン等(2回)の開催、PR用冊子作成(春秋2回)、ポスター作成など。						
					活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
					会議回数	回	6	7	5	5	
					イベント回数	回	4	4	2	4	
					冊子等校正	回	30	30	30	30	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
東武鉄道利用者、沿線住民					対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
(参画対象団体) 両毛地域・東武鉄道観光誘客連絡会議。					佐野駅利用客数(1日平均)	人	3,497	3,468	3,362		
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
両毛地域及び佐野市のPR強化。東武鉄道利用観光客の増。					成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
					冊子作成部数	部	93,000	95,500	88,000	88,000	88,000
					イベント時パンフ配布数(佐野市分)	枚	5,500	5,500	3,500	3,500	3,500
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
本市の魅力を知ってもらい、来訪、宿泊してもらおう。					上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
					市の観光入込客数	千人	8,883	8,741	8,575	9,700	10,000

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	800	800	800	800	800	
	事業費計(A)	千円	800	800	800	800	800	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			負担金	800	負担金	800	負担金	800
	正職員従事人数	人	7	7	7	7	7	
のべ業務時間	時間	280	280	280	280	280		
人件費計(B)	千円	1,068	1,070	1,068	1,068	1,068		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,868	1,870	1,868	1,868	1,868		

事務事業名	両毛地域・東武鉄道観光誘客連絡会議参画事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	担当係	観光事業係
-------	-----------------------	-----	---------	-----	---------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	「両毛地域東武鉄道活性化連絡協議会」が掲げる、両毛地域への観光誘客促進に向けて設置された「両毛地域・東武鉄道観光誘客連絡会議」に平成17年度より参画したことによる。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	国の観光立国宣言により、県及び市の観光戦略が大きく変化し、各市でも観光誘客事業に重点を置き施策を行っている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	各市担当者から、キャンペーンの地域と方法の見直しを要望する意見が出ている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	鉄道事業者と両毛地域が一体となって活動することで効果的な観光宣伝、誘客活動ができる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	市として観光誘客を図るため、妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	東武鉄道利用者を対象にしたPRによる観光誘客であるため、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	東武鉄道が主体となり十分な成果がある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	市が負担する以上の金額を東武鉄道が負担していることもあり、これ以上の削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	連絡会議への参画により本市を広くPRすることができ、観光誘客に繋がっていく。そして観光客の増加による経済効果(経済波及効果)の受益者は全市民であるため。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
	東武鉄道との連携がなくなったとき。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<p>廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		栃木県観光物産協会参画事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課
	政策	1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり					担当係	観光立市推進係	担当課長名	高橋 利彰	
	施策	1 ひとを集める観光戦略の展開					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 積極的な誘客を図る観光戦略の推進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	10735	一般	7	1	4	栃木県観光物産協会参画事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成19年度～	年度	根拠法令 条例等	なし					
	実施方法		直営		事業分類		参画事業				
	リーディングプロジェクト		該当		市長マニフェスト		5-③-1				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
栃木県観光物産協会に会費として負担金を支出する。また、会議やイベントへ参加し、観光情報の収集発信を行っている。 ※栃木県観光物産協会は、県内の観光事業者や自治体で組織される。栃木県内の観光情報の収集・提供やPR事業を行っている。		【市の活動】負担金の支出。協会が発行する観光情報誌への情報提供。県物産協会HP「とちぎ旅ネット」に記事投稿。 【栃木県観光物産協会の活動】県内観光情報の収集・提供、PR事業の助成。					
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
会議等への出席回数		回	1	1	1	1	1

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

加盟団体	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
(参画対象団体) 栃木県観光物産協会	加盟団体	市	403	403	392	392	392

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

適切な本市の観光情報の提供による栃木県観光物産協会による観光情報の魅力拡大。	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
情報提供回数	回	20	17	13	20	20	
情報誌発行回数	回	12	12	12	12	12	

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

国内に居住する人に、本市へ来訪してもらう。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
広域での連携事業数	事業	15	14	8	14	14	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	30		30		30		30		30	
	事業費計(A)	千円	30		30		30		30		30	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			負担金	30	負担金	30	負担金	30	負担金	30	負担金	30
人件費	人	2		2		2		2		2		
のべ業務時間	時間	20		20		20		20		20		
人件費計(B)	千円	76		76		76		76		76		
トータルコスト(A)+(B)	千円	106		106		106		106		106		

事務事業名	栃木県観光物産協会参画事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	担当係	観光立市推進係
-------	---------------	-----	---------	-----	---------	-----	---------

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	前身の栃木県観光協会に合併前は1市2町で加盟していた。旧田沼・葛生については自治体で、旧佐野については観光協会が負担金を払っていた。平成19年度から佐野市と観光協会の両者が案分して負担金を支払っている。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	市町村合併や景気の後退により、財源である負担金の額等についての動向が不安定である。 ※平成21年に観光協会と物産振興協会の合併により、栃木県観光物産協会となった。 ※平成23年度より、負担金が増額。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	栃木県内の観光誘客数は、県北地域に偏っているので、県南地域の誘客活動を強化してもらいたい。

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象除外。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 広域連携観光のため結び付く。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
	市が行わなければならない	理由・改善案 県内全域という広域なものであるため、市として取り組むべきであるので妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 対象・意図ともに妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 他市町との情報交換の場としても有効である。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名 *類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 【事業費】諸基準に基づく負担金であり、必要最低限と考えられるため、削減は困難である。 【人件費】必要最低限と考えられるため、削減は困難である。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 協会への参画により本市を広くPRすることができ、観光誘客に繋がっていく。そして観光客の増加による経済波及効果の受益者は全市民であるため。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	栃木県観光物産協会が解散するとき。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		栃木県アンテナショップ協議会参画事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課
	政策	1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり					担当係	観光立市推進係	担当課長名	高橋 利彰	
	施策	1 ひとを集める観光戦略の展開					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 積極的な誘客を図る観光戦略の推進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	10811	一般	7	1	4	栃木県アンテナショップ協議会参画事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成24年度～ 年度		根拠法令 条例等	なし					
							市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
						任意的事業・義務的事業		任意的事業			
						実施方法		一部委託			
						事業分類		参画事業			
						リーディングプロジェクト		該当			
						市長市政公約		5-③-1			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)									
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			令和 1 年度実績(平成30年度に行った主な活動内容)						
栃木県アンテナショップ協議会会員として、負担金を支出する。また、会議やイベントへ参加し、栃木県アンテナショップ(以下、とちまるショップ)の内容充実、さらなる周知を図る。 ※栃木県アンテナショップ協議会は、栃木県(市町)の知名度アップ、ブランド価値向上、地域産業振興、誘客促進を図ることを目的に組織される。 構成団体・・・県及び県内全市町			①負担金の支出 ②運営会議(3回)、総会(2回) ③イベントの実施 佐野商工会議所、松桜高校ソースおかし等の販売(8月3日～4日) 佐野市秋・春観光PR。パンフレット、ノベルティー配布(7月27日)						
活動指標			単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)	
会議への出席回数			回	5	5	5	5	5	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)									
栃木県アンテナショップ来場者			対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
来場者数			千人	1,360	1,540	1,451	1,550	1,550	
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)									
栃木県アンテナショップの魅力度・知名度向上に寄与する。			成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
イベント開催回数			回	4	3	2	3	3	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)									
国内に居住する人に本市の魅力を知ってもらおう。			上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
ロケ誘致件数			件	27	25	21	35	40	
コンベンション事業数			事業	7	6	5	9	10	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)	
		国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	715	580	771	500	750	
		事業費計(A)	千円	715	580	771	500	750	
事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
		負担金	715	負担金	580	負担金	771	負担金	500
人員	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2		
費用	のべ業務時間	時間	70	70	70	70	70		
	人件費計(B)	千円	267	267	267	267	267		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	982	847	1,038	767	1,017		

事務事業名	栃木県アンテナショップ協議会参画事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	担当係	観光立市推進係
-------	--------------------	-----	---------	-----	---------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成24年春の東京スカイツリーオープンを栃木県PRの絶好の機会と考え、栃木県の知名度アップ、地域産業等の振興、誘客促進を目的に、栃木県アンテナショップを設置。栃木県アンテナショップ協議会に本市が参画したことによる。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	財源である負担金の額についての動向が不安定である。アンテナショップへの来場者が減少傾向にある。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	日本の一大観光名所となる東京スカイツリーにアンテナショップを設置することは、栃木県(佐野市)への誘客促進において、大きな効果が見込める。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	広域連携観光のために結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	県内全域という広域なものであるため、市として取り組むべきであるので妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	とちまるショップの来場者を増やし、佐野市の物産品・観光スポットを周知するためであり妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	展示スペースやイベントスペースの積極的な活用でさらなるPRが出来る。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	市町の人口割、売上割で負担金が決定するため、事業費削減は出来ない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めない	理由・改善案	県全体として観光誘客を推進するものであり、観光客の増加による経済波及効果の受益者は県民である佐野市民のため。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	とちまるショップが東京スカイツリーから撤退したとき。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		栃木DESTIネーションキャンペーン促進事業				評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり				担当	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課
	政策	1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり				組織	担当係	観光事業係	担当課長名	高橋 利彰
	施策	1 ひとを集める観光戦略の展開				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 積極的な誘客を図る観光戦略の推進				実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	事業区分				
	10741	一般	7	1	4	市単独事業・国県補助事業				
	予算細事業名					市単独事業				
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	平成28年度～31年度		根拠法令 条例等	任意の事業・義務的の事業				
					なし	実施方法		直営		
						事業分類		支援事業		
					リーディングプロジェクト		該当			
					市長市政公約		5-③-1			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成元年度実績(平成元年度に行った主な活動内容)						
DESTIネーションキャンペーン(DC)はJRグループ6社と地域とが協働で取り組む国内最大規模の観光宣伝活動であり、県全体の連携のもと、各種イベント等により広く佐野市をPRし、更なる誘客を図る。 <平成28年度> ・実施組織の立ち上げ ・プレDCに向けた準備 <平成29年度> ・プレDC実施 ・本DCに向けた準備 <平成30年度> ・本DC実施 ・アフターDCに向けた準備 <令和元年度> ・アフターDC実施	(市の活動) 栃木DESTIネーションキャンペーン佐野推進委員会に交付金を交付する。 (栃木DESTIネーションキャンペーン佐野推進委員会の活動) ・総会の開催 ・栃木DESTIネーションキャンペーン佐野実行委員会会議の開催 ・誘客企画の実施						
	活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	会議等開催回数	回	4	2	2		
	イベント等開催件数	回	2	28	12		

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

全国の人口	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	国内の総人口(人口推計10/1)	千人	126,706	126,443	126,167		

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

佐野市を訪れてもらう。	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	佐野市観光協会ホームページアクセス数	千件	178	279	276		
	観光客入込数	千人	8,883	8,741	8,575		

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

本市の魅力を知ってもらい、来訪、宿泊してもらおう。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	観光客入込数	千人	8,883	8,741	8,575		

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)		
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円		1,619	1,500	486				
	事業費計(A)	千円		1,619	1,500	486	0	0		
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			共済費	99	交付金	1,500	交付金	486		
			賃金	620						
交付金			900							
人件費	正規職員従事人数	人	5	5	5					
	のべ業務時間	時間	800	800	800					
	人件費計(B)	千円	3,053	3,057	3,052	0	0			
	トータルコスト(A)+(B)	千円	4,672	4,557	3,538	0	0			

事務事業名	栃木デスティネーションキャンペーン促進事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	担当係	観光事業係
-------	-----------------------	-----	---------	-----	---------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	栃木県が、平成30年春(4～6月)のJRグループによるデスティネーションキャンペーンの開催地域に指定されたことによる。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	国の観光立国宣言により、県及び市の観光戦略が大きく変化し、各市でも観光誘客事業に重点を置いた施策を行っており、今後ますます加速するものとする。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	栃木県から、「栃木デスティネーションキャンペーン」をオール栃木体制で取り組むことへの協力要請があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	実行委員会での意見交換による取組み内容の検討を行った。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている		理由・改善案	栃木県DC組織と連携を図ると共に、JRグループの広大な宣伝網を活用することにより、佐野市を全国に広くPRしている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない		理由・改善案	市全体の観光誘客を図るため妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である		理由・改善案	全国に広く佐野市をPRするための事業であるため、妥当である
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある		理由・改善案	市内の観光関連事業者の取組を活性化させることで、より大きな成果を出すことが出来る。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない		理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない		理由・改善案	PRに必要な経費であり、削減は難しい。 なお、事業実施後は精算とする。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めると必要がない		理由・改善案	観光客の増加による経済効果(経済波及効果)の受益者は全市民であるため。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)				
デスティネーションキャンペーン(平成29年4～6月:ブレDC、平成30年4～6月:本DC、平成31年4～令和元年6月:アフターDC)が終了した時。					

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業終了 * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		全国へそのまち協議会参画事業				評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり				担当	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課
	政策	1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり				担当組織	観光立市推進係	担当課長名	高橋 利彰
	施策	1 ひとを集める観光戦略の展開				事業区分	新規事業・継続事業		継続事業
	基本事業	1 積極的な誘客を図る観光戦略の推進					実施計画事業・一般事業		一般事業
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目		市単独事業・国県補助事業		市単独事業
事業計画	10733	一般	7	1	4	任意的事業・義務的事业		義務的事业	
事業期間		平成11年度～ 年度		根拠法令 条例等	なし	実施方法		直営	
単年度繰り返し						事業分類		参画事業	
						リーディングプロジェクト		該当	
						市長マニフェスト		5-③-1	

1. 事務事業の現状把握[DO]

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)						
<p>・会員として、負担金を支出している。また、総会、幹事会、イベント等に参加することにより、参画市町村との交流および地域の活性化を図る。</p> <p>※全国へそのまち協議会は全国の「へそのまち」を名乗る市町村により、自治体間の親善と交流、魅力ある地域づくりの推進に資することを目的として組織された。現在は10市町村を会員として構成されている。</p> <p>・R1は会長市として本市において総会を開催する予定であったが、台風19号による被災のため、書面協議として開催した。併せてどまんなかフェスタ佐野2019に併せて実施を予定していた「へそのまちご当地PR」及び「全国へそのまち観光物産展」についても中止した。</p> <p>・R2も本市が会長を務め、改めて総会及び観光物産展等を開催する。</p>		<p>【市の活動】 負担金の支出手続き、令和元年度総会及び観光物産展準備、幹事会出席、構成市町村主催の観光物産展への特産品出品。</p> <p>・令和元年度会長市：佐野市</p> <p>・令和元年度総会は11月2日に本市において開催予定であったが、台風19号被災により開催が困難となったため、11月28日に書面協議の形で開催した。また、11月3日に開催予定の「どまんなかフェスタ佐野2019」も同様の理由で中止となったため、「へそのまちご当地PR」及び「全国へそのまち観光物産展」も中止となった。</p> <p>・令和2年度も引き続き本市が会長市となる。改めて、総会及び観光物産展を本市において開催する。</p> <p>【協議会の活動】 総会、幹事会、全国の「へそ」「中央」を呼称する市町村の加盟促進、構成市町村によるへそのまち観光物産展等の開催、災害時相互応援協定事業、公式HP及びフェイスブックによる情報発信。</p> <p>・愛媛県四国中央市への加盟を打診したが、断られた。</p> <p>・台風19号襲来に伴い、本宮市及び本市が被災した。協議会加盟市町村間の災害時相互応援協定に基づき、被災2市に対し物資の支援が行われた。</p> <p>◆災害支援費 3,520,000円(非被災市町村負担金@440,000×8市町村=3,520,000円)</p> <p>◆本市への支援内容 土嚢袋、ゴム手袋、皮手袋、軍手(950,476円相当)</p>						
		活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
		会議開催回数	回	1	2	1	2	2
		イベント開催回数	回	4	4	5	5	5
		会議出席回数	回	1	2	1	2	2

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

協議会加盟自治体		対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
(参画対象団体)全国へそのまち協議会		加盟市町村数	市町村	9	10	10	10	10

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的		成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
イベントの開催等により、へそのまちを周知し、観光客数や知名度の上昇を図ると共に、加盟市町村数を増加させ、より広範囲の交流に結び付ける。		加盟市町村数	市町村	9	10	10	10	10

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

国内に居住する人に、本市へ来訪してもらう。		上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
		広域での連携事業数	事業	15	14	8	14	14

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	20	20	20	361	2	
	事業費計(A)	千円	20	20	20	361	2	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			負担金	20	負担金	20	負担金	20
							報償物資費	121
						需用費	120	
						使用料	100	
				負担金	20			
正規職員従事人数	人	1	1	2	2	1		
のべ業務時間	時間	30	30	50	80	30		
人件費計(B)	千円	114	115	191	305	114		
トータルコスト(A)+(B)	千円	134	135	211	666	116		

事務事業名	全国へそのまち協議会参画事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	担当係	観光立市推進係
-------	----------------	-----	---------	-----	---------	-----	---------

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成11年度に旧田沼町が「日本列島の中心 どもんなかたぬま」を宣言したことにより協議会に加盟した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	合併や財政圧迫を理由に、各市町村の脱退が相次ぎ、一時は6市町村まで減少。その後、平成19年に7市町村、平成20年に8市町村、平成28年に9市町村、平成30年度に10市町村まで増加した。しかし、各自治体で財政難が叫ばれる昨今、協議会の運営は非常に厳しくなってきた。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	当協議会に加盟する市町村が行うイベントで各地の物産品を販売する他、平成29年2月には「加盟市町村災害時の相互応援に関する覚書」を締結するなど、関係の充実図られており、今後より一層の発展が期待されている。四国地方の加盟がないため、「へそ」「中央」を呼称する市町村への加盟を打診している。

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
目的(対象・意図)再設定	市町村交流とまちづくりの推進を趣旨とする協議会なので、総合政策部局で所管するよう調整ができなかった。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	へそのまち協議会の趣旨である各市町村との連携やまちづくりの推進、広域観光事業として結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	加盟自治体間の情報交換と魅力ある地域づくりの推進に資することを目的としているため、市として参画することは妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	へそのまちを共同で宣伝し、加盟市町村が連携することは妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	協議会の活動を活性化し、有効な提案を行うため、会議への参加を増やす。また、佐野市においても、「へそのまち」という観光資源を積極的にPRする必要がある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業名	
	類似事務事業はない	理由・改善案	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	【事業費】負担金のみである。(令和元年度及び令和2年度は総会開催に必要な予算を計上) 【人件費】業務所要時間は最小限である。
	削減の余地はない	理由・改善案	
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	協議会への参画により本市を広くPRすることができ、観光誘客にも繋がっていく。そして観光客の増加による経済効果(経済波及効果)の受益者は全市民であるため。
	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
	全国へそのまち協議会が解散するとき。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1)今後の事務事業の方向性	(2)改革・改善による期待効果	(3)改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策
目的(対象・意図)再設定	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。	
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	コスト	
会議への出席を増やし、協議会の活動を活性化する。	削減 維持 増加	
	向上 ○	
	維持 ×	
	低下 × ×	

事務事業名		佐野市観光協会自立支援事業				評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり				担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課
	政策	1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり					担当係	観光事業係	担当課長名	高橋 利彰
	施策	1 ひとを集める観光戦略の展開					新規事業・継続事業		継続事業	
	基本事業	1 積極的な誘客を図る観光戦略の推進					実施計画事業・一般事業		一般事業	
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
	10806	一般	7	1	4	佐野市観光協会自立支援事業				
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業	
事業計画	単年度繰り返し		事業期間	平成20年度～ 年度		根拠法令 条例等	なし			
	任意の事業・義務の事業						任意の事業		任意の事業	
	実施方法						実施方法		直営	
事業分類						事業分類		支援事業		
リーディングプロジェクト						リーディングプロジェクト		該当		
市長市政公約						市長市政公約		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)												
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)						令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)						
佐野市観光協会の法人化に伴う組織強化のため、事務局人件費の助成を行う。						佐野市観光協会へ補助金を交付(事務局長と臨時職員1人分)。						
活動指標						単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)	
パンフレット送付件数						通	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	
観光イベント開催PR回数						回	80	80	80	80	80	
電話問い合わせ件数						件	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)												
観光協会会員 観光客						対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)
佐野市観光協会ホームページアクセス件数						千件	178	279	276	290	300	
目的												
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)						佐野市のPR 観光客の増加						
成果指標						単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)	
観光客入込数						千人	8,883	8,741	8,575	9,700	10,000	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)												
本市の魅力を知ってもらい、来訪、宿泊してもらおう。						上位成果指標						
観光客入込数						千人	8,883	8,741	8,575	9,700	10,000	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	3,500		3,500		3,500		3,500		3,500	
	事業費計(A)	千円	3,500		3,500		3,500		3,500		3,500	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			補助金	3,500	補助金	3,500	補助金	3,500	補助金	3,500	補助金	3,500
	人件費	人	1		1		1		1		1	
のべ業務時間	時間	20		20		20		20		20		
人件費計(B)	千円	76		76		76		76		76		
トータルコスト(A)+(B)	千円	3,576		3,576		3,576		3,576		3,576		

事務事業名	佐野市観光協会自立支援事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	担当係	観光事業係
-------	---------------	-----	---------	-----	---------	-----	-------

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成19年秋に、任意組織であった佐野市観光協会の一部分が中間法人という法人格を持ち、平成20年度から全体が中間法人となった。それまで、観光課職員が協会事務局員を兼ねていた状態を解消し、独立した組織として自立するため、事務局長を民間から採用し、事務局体制を強化するために補助金を交付し支援を行う。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	また、国を挙げて観光立国を目指す等、観光に対する価値も高まっている。 また、本市においては、年間入込客数が850万人を超え、観光ボランティアガイドの活動も増えるなど、観光誘客推進に対する意識が高まっている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	佐野には恵まれた観光資源があるのだから、もっとそれらを生かす施策をして欲しい。

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持のため対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	市と協働して観光宣伝を担っており、観光協会を強化することは、観光宣伝に必要なため、結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	市と協働して観光宣伝を担っている観光協会に対して、補助金を出す必要があるため。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	観光協会は本市観光行政を円滑に進めるため、また、産官民が連携した観光誘客と地域産業の発展に必要な不可欠な団体であり、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	人件費分の補助のため。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	観光協会組織維持のため削減はできない。 補助金交付事務程度なので、削減余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めない	理由・改善案	公益事業の人件費分は市と協会が負担すべきである。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 協会としても収入の確保に努めているが、性質上収入源が乏しい状況にあり当面の間は補助が必要である。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1)今後の事務事業の方向性	(2)改革・改善による期待効果	(3)改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施) *評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		佐野市観光協会支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課
	政策	1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり					担当係	観光事業係	担当課長名	高橋 利彰	
	施策	1 ひとを集める観光戦略の展開					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 積極的な誘客を図る観光戦略の推進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	10676	一般	7	1	4	佐野市観光協会支援事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度～ 年度		根拠法令 条例等	なし					
					事業区分						
						市単独事業・国県補助事業		市単独事業			
						任意的事業・義務的事業		任意的事業			
						実施方法		直営			
						事業分類		支援事業			
						リーディングプロジェクト		該当			
						市長市政公約		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)							
一般社団法人 観光協会への交付金の交付。事務局と連携して観光PR事業の展開(看板設置、HP維持管理、広告、パンフレット作成、送付)、各種イベントの展開(佐野市民京都バスの旅、七福神めぐり、全国小京都会議等) ※一般社団法人 佐野市観光協会は、観光PR事業の展開、観光物産会館の運営、観光資源の発掘等や各種イベントの開催を行っている。			【市の実績】 観光協会が実施する事業への協力支援 【協会の実績】 ホームページ管理、観光情報提供、佐野市民京都バスの旅、観光キャラバン、七福神めぐりなど							
			活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)	
			パンフレット送付件数	通	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	
			観光イベント開催PR回数	回	80	80	80	80	80	
			電話問い合わせ件数	件	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
<交付金の支出団体> 一般社団法人 佐野市観光協会 観光客			対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)	
			佐野市観光協会ホームページアクセス件数	千件	178	279	276	290	300	
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
佐野市のPR 観光客の増加			成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)	
			観光客入込数	千人	8,883	8,741	8,575	9,700	10,000	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
本市の魅力を知ってもらい、来訪、宿泊してもらおう。			上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)	
			観光客入込数	千人	8,883	8,741	8,575	9,700	10,000	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	4,650		4,550		4,450		4,350		4,350	
	事業費計(A)	千円	4,650		4,550		4,450		4,350		4,350	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			交付金	4,650	交付金	4,550	交付金	4,450	交付金	4,350	交付金	4,350
	人件費	人	4		4		4		4		4	
のべ業務時間	時間	600		600		600		600		600		
人件費計(B)	千円	2,290		2,293		2,289		2,289		2,289		
トータルコスト(A)+(B)	千円	6,940		6,843		6,739		6,639		6,639		

事務事業名	佐野市観光協会支援事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	担当係	観光事業係
-------	-------------	-----	---------	-----	---------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和30年頃、市では補いきれない観光分野を観光協会が継承拡大してきた。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	社会における価値観やライフスタイルの多様化などにより、観光の形態も団体型から個人型が主流になってきており、多様な価値観やニーズに対応した着地型観光商品を造成することで地域活性化につなげる取組など、それぞれのニーズに合った観光サービスの提供が求められている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	佐野市には恵まれた観光資源があるのだから、もっとそれらを活かす施策をしてほしい。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	県観光交流課、JR東日本、JTB、市町で組織する「本物の出会い 栃木」観光キャンペーン推進協議会での連携を強化し、観光商品等の情報を積極的に発信した。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	市の観光行政と連携して観光誘客を行っている。行政では対応が難しい分野も含め、本市への観光誘客を多角的に行っていることから、「総合的な誘客を図る観光戦略の推進」に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	市と協働して観光宣伝を担っている観光協会に対し、交付金を出す必要があるため。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	観光協会は、観光行政を進めるにあたり必要な団体であり、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	観光PRの方法を再検討することで効果的な観光PRを行い、さらなる観光誘客を図ることができると思われるため。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	観光協会組織を維持するためには最小限の予算である。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めない	理由・改善案	観光協会が観光誘客事業を展開することによる観光客の増加に伴う経済効果(経済波及効果)の受益者は、全市民であるため。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
市の重点分野である観光宣伝の力を半減させることになるので、休止・廃止はできない。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 観光PR方法の再検討。	廃止・休止の場合は、記入不要×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	観光誘客の手法の専門的な知識、観光協会事務局体制の強化。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		佐野コミュニケーションセンター運営事業				評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり				事業区分	担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課
	政策	1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり					担当係	観光事業係	担当課長名	高橋 利彰	
	施策	1 ひとを集める観光戦略の展開					新規事業・継続事業	継続事業			
	基本事業	1 積極的な誘客を図る観光戦略の推進					実施計画事業・一般事業	一般事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	10612	一般	7	1	6	佐野コミュニケーションセンター運営事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成14年度～ 年度		根拠法令 条例等	なし					
						市単独事業・国県補助事業	市単独事業				
						任意的事業・義務的事業	任意的事業				
						実施方法	一部委託				
						事業分類	施設維持管理事業(市主体)				
						リーディングプロジェクト	該当				
						市長市政公約	該当なし				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
佐野コミュニケーションセンター管理・運営協議会の事務(施設運営、パンフレット設置/ポスター掲示/商品展示/ホームページ登録)の開催。 佐野ナビゲーションフェアの開催。		<ul style="list-style-type: none"> 施設運営(パンフレット設置、ポスター掲示、商品展示の取りまとめ、及びホームページ登録) プレミアムアウトレット主催の店長会議への出席(2ヶ月毎) センター内への外国語表示 佐野ナビゲーションフェアの実施 秋: 令和元年東日本台風の影響により中止(令和1年10月20日予定) 春: 新型コロナウイルスの影響により中止(令和2年3月15日予定)					
	活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	事業者利用件数	件	99	96	94	94	95
	キャンペーン開催件数	回	1	2	0	1	2

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

佐野プレミアム・アウトレット来場者 佐野コミュニケーションセンター来館者		対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
		センター来館者	人	79,439	69,731	59,249	55,000	60,000

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

佐野市のPRをし、街中へ回遊してもらおう。		成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
		ホームページアクセス件数(独自)	件	1,167	943	2,517	2,000	2,200
		パンフレット設置数	枚	37,261	30,211	28,061	29,000	30,000

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

本市の魅力を知ってもらい、来訪、宿泊してもらおう。		上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
		市の観光入込客数	千人	8,883	8,741	8,575	9,700	10,000

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	6,060	6,305	6,298	6,103	6,103			
	事業費計(A)	千円	6,060	6,305	6,298	6,103	6,103			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費		
			消耗品費	63	消耗品費	10	消耗品費	0	消耗品費	32
			光熱水費	181	光熱水費	179	光熱水費	167	光熱水費	212
通信運搬費			67	通信運搬費	68	通信運搬費	66	通信運搬費	77	
会場等借上料			1,749	会場等借上料	1,749	会場等借上料	1,765	会場等借上料	1,782	
負担金			4,000	負担金	4,300	負担金	4,300	負担金	4,000	
人件費	人	2	2	2	2	2				
のべ業務時間	時間	100	100	100	100	100				
人件費計(B)	千円	382	382	382	382	382				
トータルコスト(A)+(B)	千円	6,442	6,687	6,680	6,485	6,485				

事務事業名	佐野コミュニケーションセンター運営事業	担当部	観光立市推進課	担当課	観光立市推進課	担当係	観光事業係
-------	---------------------	-----	---------	-----	---------	-----	-------

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成15年3月の佐野プレミアムアウトレットのオープンに備え、アウトレット及び新都市地区の来訪者を市内に回遊させること、佐野市をPRすることを目的に開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	アウトレットは1年ごとに店舗を増やし、80店舗から約170店舗へと増床。着実に顧客を増やしている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	センター内での商品販売を要望する声がある。

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	佐野市の観光資源や地元農産品を知ってもらうことで結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	市内の観光、物産品情報を公平に提供する意味から市の関与は妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	市外からの集客力が高い、佐野プレミアムアウトレット内に、コミュニケーションセンターを設置することにより、効果的に佐野のPRをすることができるため、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	施設の面積が狭いため、パンフレット等の設置数にも制限があるが、職員の接客や観光案内等人的サービスの向上を図ることにより、成果を向上させられる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業名	
	⑥類似事務事業はない	理由・改善案	
効率性 評価	⑦事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	借上料などの経費は現状が最低限のため、削減の余地はない。
	⑧受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	受益者は不特定多数の観光客であるため。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
	アウトレットがなくなったとき。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		関東菊花競技大会開催支援事業				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり				事業区分	担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	
	政策	1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり					担当係	観光事業係	担当課長名	高橋 利彰		
	施策	1 ひとを集める観光戦略の展開					新規事業・継続事業	継続事業				
	基本事業	1 積極的な誘客を図る観光戦略の推進					実施計画事業・一般事業	一般事業				
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名						
	10713	一般	7	1	4	関東菊花競技大会開催支援事業						
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度～ 年度		根拠法令 条例等	なし						
						市単独事業・国県補助事業	市単独事業					
						任意的事業・義務的事业	任意的事業					
						実施方法	直営					
						事業分類	支援事業					
						リーディングプロジェクト	該当					
						市長市政公約	該当なし					

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
関東菊花競技大会に補助金を支出している。 また、関東菊花競技大会の開催支援(後援・協賛依頼、賞状下付申請・判徴求、チラシ・ポスターの配布、児童絵画展の依頼・審査依頼・集計(9～11月)・表彰式実施支援)を行っている。 ※関東菊花競技大会は、晃陽会・佐野市主催の菊の競技大会であり、昭和4年の第1回大会以来一度も欠かすことなく開催されてきた歴史ある大会である。	(市の活動) ・後援、協賛依頼(9～10月)・賞状下付申請・判徴求(9～11月)・チラシ・ポスターの配布(9月～10月) ・児童絵画展の依頼・審査依頼・集計(9～11月)・表彰式実施支援 (関東菊花競技大会の活動) ・第91回関東菊花競技大会の開催(令和元年11月1日～23日 春日岡山惣宗寺境内にて) ・表彰式の実施(11月23日、佐野市中央公民館3階ホールにて)					
	活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)
後援を依頼した事業所・団体数	件	7	7	9	9	9
賞状を依頼した事業所・団体数	件	25	25	26	26	26
児童絵画展への作品応募数	枚	139	136	104	100	100

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

① 菊愛好家 ② 市民 ③ 観光客 (支援対象団体) 関東菊花競技大会	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	菊愛好家数	人	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
	市民の数(人口)	人	120,018	119,348	118,450	117,706	
	観光客入込数	千人	8,883	8,741	8,575	9,700	10,000

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

① 菊愛好家の意識向上 ② 市民の社会情操教育と文化の向上、菊花栽培の観賞と普及発展 ③ 観光誘客、菊花栽培の観賞と普及発展	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	菊花出品数	品	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
	来場者数	人	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

本市の魅力を知ってもらい、来訪、宿泊してもらおう。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	観光客入込数	千人	8,883	8,741	8,575	9,700	10,000

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円		1,350		1,150		1,000		1,000		1,000
	事業費計(A)	千円		1,350		1,150		1,000		1,000		1,000
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			補助金	1,350	補助金	1,150	補助金	1,000	補助金	1,000	補助金	1,000
人件費	正規職員従事人数	人	2		2		2		2		2	
	のべ業務時間	時間	300		300		300		300		300	
	人件費計(B)	千円	1,145		1,146		1,145		1,145		1,145	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,495		2,296		2,145		2,145		2,145	

事務事業名	関東菊花競技大会開催支援事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	担当係	観光事業係
-------	----------------	-----	---------	-----	---------	-----	-------

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和4年に菊愛好家が集い設立した晃陽会が、社会情燥教育、文化の向上、菊花栽培観賞及び普及発展を図り、もって佐野市の観光行政の発展のために開催した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	菊愛好家の高齢化により、菊花の出品点数が減少傾向にある。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	菊愛好家の高齢化により、菊花の出品点数が減少傾向にある。

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(コストの見直し)	市負担金を削減した。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 市内外からイベントに関する問い合わせが多く、イベントに関心が寄せられていることが見え、観光誘客イベントとして政策体系と結び付く。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
	市が行わなければならない	理由・改善案 大会を主催する晃陽会と協力をしながら事務を行っているが、会員の高齢化のため、現状より会に負担がかかることは難しい。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 大会を盛り上げることにより、観光誘客を図れるため妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 令和元年度で第91回と歴史ある大会であり成果は上がっているが、会員の高齢化のため、これ以上の成果を求めるのは難しい。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名 *類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	事業費の削減余地がある	理由・改善案 実施方法、運営費の根本的な見直しを行い、事業費の縮減を図る必要がある。 なお、晃陽会会員の高齢化のため、現状より会に負担をかけることは厳しく、今後はさらに市の負担が大きくなる可能性が高い。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求めない	理由・改善案 観光客の増加による経済効果(経済波及効果)の受益者は市民である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	主催の晃陽会が大会の開催を休止(廃止)すると判断した場合、もしくは晃陽会が解散となった場合。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1)今後の事務事業の方向性	(2)改革・改善による期待効果	(3)改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(コストの見直し)	廃止・休止の場合は、記入不要×の領域は改革改善ではない。	晃陽会と調整を図るとともに、市内外へのより効果的なPRを図る。																							
*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)																									
成果の低下を最小限に抑えつつ、事業費の縮減を図る。	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持	○		×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持	○		×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		観光事業者との連携強化事業				評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり				担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課
	政策	1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり				担当係	観光事業係	担当課長名	高橋 利彰	
	施策	1 ひとを集める観光戦略の展開				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 積極的な誘客を図る観光戦略の推進				実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
	10708	一般	7	1	4	観光事業者との連携強化事業				
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成19年度～ 年度		根拠法令 条例等	なし				
							市単独事業・国県補助事業		市単独事業	
						任意的事業・義務的事業		任意的事業		
						実施方法		一部委託		
						事業分類		その他直接サービス提供事業		
						リーディングプロジェクト		該当		
						市長市政公約		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)				
観光誘客における観光事業者との連携において、佐野プレミアム・アウトレットと連携し、アウトレット内での観光PR事業を展開することにより、市内各所の観光スポットへの誘客及び回遊性を高める。 また、観光エージェントへのツアー造成の働きかけを行う。 佐野市観光協会に業務委託。		・佐野プレミアム・アウトレットで毎月(10月～11月は台風被害により中止)1日以上、本市の観光PR事業を実施し、本市名産品の販売やPR冊子の配布により観光情報を発信した。				
活動指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)
観光PR回数	回	—	13	28	16	24
打合わせ回数	回	4	17	16	10	12

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

全国人口	対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)
	国内の総人口(人口推計10/1)	千人	126,706	126,443	126,167		

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的	成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)
本市の魅力を広くPRするため、各種ツアーの企画誘致などを図り、本市に来ていただく。(H27年度から)	ツアー利用者数	人	533	554	372	100	600

④ 結果(どのような結果に結びつけますか?)

本市の魅力を知ってもらい、来訪、宿泊してもらう。	上位成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)
	市の観光入込客数	千人	8,883	8,741	8,575	9,700	10,000
	テレビ(全国ネット)が取り上げた件数	件	—	12	16	10	10

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円			360		360		312		312	
	事業費計(A)	千円	0		360		360		312		312	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
					業務委託料	360	業務委託料	360	業務委託料	312	業務委託料	312
	人件費	人	1		3		2		2		2	
のべ業務時間	時間	120		240		240		240		240		
人件費計(B)	千円	458		917		916		916		916		
トータルコスト(A)+(B)	千円	458		1,277		1,276		1,228		1,228		

事務事業名	観光事業者との連携強化事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	担当係	観光事業係
-------	---------------	-----	---------	-----	---------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成19年3月に作成された佐野市総合計画の中で、観光事業者との連携強化の具現化として開始された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	JRバス関東との、高速バスを利用した企画乗車券の作製・販売・広報宣伝は廃止になったが、ほとバスに働きかけた結果、ほとバスツアーを市内で実施できるようになった。 また、観光協会と共にJR東日本への働きかけを行い、平成29年4月より「びゅう」旅行商品のパッケージツアーを実施できることとなった。平成30年度より、佐野プレミアム・アウトレットとの連携し、アウトレット内にて観光PR事業を展開できることとなった。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	新都市地区への来訪者を市内や市北部中山間地域へ誘導するよう要望がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(コストの見直し)	業務委託の内容の検討を行った。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	観光事業者と連携強化をし、市内に訪れる観光客を増加させることで政策体系と結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	佐野市全体への誘客促進を図るためには、市が中心に行う必要がある。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	対象を見直す必要がある	理由・改善案	JRバスのツアーが終了したため、JRバスの高速バス利用者ではなく、ほとバス等を利用し市内を観光する利用者を対象にする必要がある。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	現在は、ほとバスが市内のツアーを組んでいるが、今後、他の事業者に対し働きかけを行うことで、多くのツアーを市内に呼び込むことができる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	業務委託料の必要最低限であり、削減はできない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めない	理由・改善案	観光客の増加による経済効果(経済波及効果)の受益者は全市民であるため。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	観光客の市内への周遊の促進が図られ、観光客が魅力を感じ、来訪するようになれば終了できる。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) ①観光事業者に対し、本市を回遊する新規バスツアーや新たな旅行企画商品の開発を積極的に要望することにより、実施することにより、本市への観光誘客を図る。 ②アウトレットで観光PRを行い、訪れた観光客の市内への回遊を促す。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>①②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		①②		維持			×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		①②																						
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		観光パンフレット作成事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課
	政策	1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり					担当係	観光立市推進係	担当課長名	高橋 利彰	
	施策	1 ひとを集める観光戦略の展開					新規事業・継続事業	継続事業			
	基本事業	1 積極的な誘客を図る観光戦略の推進					実施計画事業・一般事業	一般事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	10675	一般	7	1	4	観光パンフレット作成事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度～	年度	根拠法令 条例等	なし					
						事業区分	市単独事業・国県補助事業	市単独事業			
						任意的事業・義務的事業	任意的事業				
						実施方法	一部委託				
						事業分類	その他直接サービス提供事業				
						リーディングプロジェクト	該当				
						市長マニフェスト	該当なし				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			令和 1 年度実績(令和 1 年度に行った主な活動内容)								
観光パンフレットの作成及び配布			観光パンフレットの作成 (事業費の内訳) 体験型宿泊施設ガイドマップ作製 10,000部 ※令和元年東日本台風により印刷製本費減額補正を行った								
活動指標			単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)			
観光パンフレット作成部数			部	17,000	33,000	10,000	30,000	30,000			
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
全国の人、市に問い合わせをした人			対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)		
国内の総人口(人口推計)			千人	126,706	126,443	126,167					
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
佐野市の観光スポットを知ってもら。			成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (目標)	R3年度 (目標)		
パンフレット配布部数			部	17,000	25,000	18,000	31,000	30,000			
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
国内に居住する人に本市の魅力を知ってもら。			上位成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (目標)	R3年度 (目標)		
ロケ誘致件数			件	27	25	21	35	40			
コンベンション事業数			事業	7	6	5	9	10			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	1,596		2,025		168		1,522		1,800	
	事業費計(A)	千円	1,596		2,025		168		1,522		1,800	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			印刷製本費	444	印刷製本費	1,792	印刷製本費	160	印刷製本費	1,412	印刷製本費	1,600
			業務委託料	1,152	業務委託料	233	業務委託料	8	業務委託料	110	業務委託料	200
正規職員従事人数	人	2		2		2		2		2		
のべ業務時間	時間	100		100		100		100		100		
人件費計(B)	千円	382		382		382		382		382		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,978		2,407		550		1,904		2,182		

事務事業名	観光パンフレット作成事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	担当係	観光立市推進係
-------	--------------	-----	---------	-----	---------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	観光誘客の手段として開始しているが、観光としての基本事業であるため開始年度は不詳。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	観光客のニーズの多様化が進んでいる。外国人観光客の増加に伴い体験によるコト消費を求める傾向が強くなっている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	より多くの分野のパンフレットを作成してほしい。 パンフレットが分散しているので、ひとつにまとめたほうが良い。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	パンフレット内容の見直しを行い、最新の情報にした。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	佐野市の観光PRを行うにあたって必要である。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	総合的なパンフレットを作成しているため、市で作成することが妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	全国の人に佐野市を知ってもらい、来訪してもらうことが目的であるため妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	より観光客のニーズにあったパンフレットにしていくことにより、成果向上の余地がある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	パンフレットが不足している現状のなか削減は出来ない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めない	理由・改善案	佐野市への誘客を促すものなので、負担を求めるとは目的が達成出来なくなる。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	観光PRをパンフレット(紙媒体)で行う必要が無くなったとき。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。	ニーズの多様化により、作成するパンフレットへの情報量の増加と経費増大が考えられる。																							
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		観光キャラバン事業				評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり				担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課
	政策	1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり				担当係	観光事業係	担当課長名	高橋 利彰	
	施策	1 ひとを集める観光戦略の展開				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 積極的な誘客を図る観光戦略の推進				実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
	10740	一般	7	1	4	観光キャラバン事業				
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意の事業・義務の事業		任意の事業	
事業計画	単年度繰り返し		事業期間	平成10年度～	年度	根拠法令 条例等	なし		実施方法	一部委託
								事業分類	その他直接サービス提供事業	
								リーディングプロジェクト	該当	
								市長市政公約	該当なし	

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)												
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)					令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)							
佐野市観光協会への業務委託により、観光キャラバンを行う。 首都圏の駅やショッピングセンターにおけるパンフレット、ノベルティの配布等。 首都圏のマスコミ、旅行会社等へのPR。					5月25日:埼玉県さいたま市、7月19日:埼玉県越谷市、7月27日:スカイツリーソラマチ、 9月14～15日:千葉県船橋市 など 10月以降、令和元年東日本台風被災での災害対応や、コロナウイルス感染拡大の影響により、予定していた事業を取りやめた。							
活動指標		単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)					
観光キャラバン回数		回	14	14	8	5	15					
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)												
全国人口					対象指標		単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)
					国内の総人口 (人口推計10/1)		千人	126,706	126,443	126,167		
目的												
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)					成果指標		単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)
① 佐野市の認知度向上 ② 観光入込客数の増加					佐野市観光協会ホームページ アクセス件数		千件	178	279	276	320	350
					観光客入込数		千人	8,883	8,741	8,575	9,700	10,000
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)												
本市の魅力を知ってもらい、来訪、宿泊してもらおう。					上位成果指標		単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)
					広域での連携事業数		事業	14	14	8	16	16

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円	56	37				
	一般財源	千円	524	543	580	580	580	
	事業費計(A)	千円	580	580	580	580	580	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			業務委託料	580	業務委託料	580	業務委託料	580
	人件費	人	4	4	4	4	4	
	のべ業務時間	時間	200	200	200	200		
	人件費計(B)	千円	763	764	763	763		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,343	1,344	1,343	1,343		

事務事業名	観光キャラバン事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	担当係	観光事業係
-------	-----------	-----	---------	-----	---------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	かたくりの里の整備に伴い、かたくりの里のPRのため開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	佐野市観光資源である、「佐野プレミアム・アウトレット」、「佐野厄除け大師」、「万葉自然公園かたくりの里」、「佐野らーめん」等はキャラバンを実施することにより、関東全域で認知されつつある。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	北関東自動車道の全線開通に伴い、新潟や水戸等へのキャラバン実施が必要。また、圏央道の開通に伴い、神奈川県や千葉県方面へのキャラバン実施も検討。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	水戸借楽園や川越などで新規のキャンペーン展開を調整していたがコロナウィルスの関係で中止となった。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	佐野市の観光資源の見所や時期、特産品、交通手段など、旬の観光情報を提供する。観光地としての佐野市へ誘客をはかり、実際に観光してもらうことで佐野市の良さ、魅力を知ってもらう。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	市の観光PRをするものであるため妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	対象を見直す必要がある	理由・改善案	現在、佐野市には埼玉や東京など関東圏域からの入込が多く、また、北関東自動車道の全線開通により、今後は、新潟方面や水戸方面からの観光客の増加が見込めるため、全国ではなく地域を絞ったPR活動が有効である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	毎年、キャラバン開催場所は固定しつつあるため、キャラバン開催場所の見直しにより、効果アップの可能性はある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はあるが、統合・連携できない	理由・改善案	類似する事務事業ではあるが、東武鉄道を軸とした事業であり統合できない。 * 類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	観光立市の実現に向け、市外でのPR活動は重要となるため、事業費の削減(=事業の縮小)はできない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めない	理由・改善案	観光客の増加による経済効果(経済波及効果)の受益者は全市民であるため。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	観光キャラバン事業は、市のPR活動の中でも市外の方に直接働きかけることができ、PR効果が非常に高いため廃止はできない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) ①キャラバン開催回数及び開催地を増加させPRの機会を増やす。 ②開催地を変更して行う。	廃止・休止の場合は、記入不要×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		②	①	維持			×	低下		×	×	観光キャラバンによるPR効果が期待できる開催場所の選定を行う。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		②	①																					
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		観光PR車維持管理事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課
	政策	1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり					担当係	観光立市推進係	担当課長名	高橋 利彰	
	施策	1 ひとを集める観光戦略の展開					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 積極的な誘客を図る観光戦略の推進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	10743	一般	7	1	4	観光PR車管理事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成22年度～ 年度		根拠法令 条例等	なし					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業			市単独事業			
	任意の事業・義務の事業		任意の事業			実施方法		直営			
事業分類		施設維持管理事業(市主体)			リーディングプロジェクト		該当				
市長市政公約		該当なし									

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)												
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)						令和 1年度実績(令和 1年度に行った主な活動内容)						
観光PR活動の一環として、広告を掲載した観光PR車を、市内外のイベント等で活用を図る。また適切な車両の維持管理を行う。						【活用状況】 さの秀郷太鼓の運搬、市主催の各種イベント時に活用。						
活動指標						単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)	
イベント等使用実績						回	29	18	9	16	20	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)												
関東地方及び近県住民 (1都6県+福島県+新潟県)						対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)
関東地方と近県の人口 (総務省・人口推計10/1住基台帳)						千人	47,397	47,469	47,533			
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)												
佐野市の魅力をPRし、佐野市を訪れてもらう。						成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (目標)	R3年度 (目標)
観光客入込数						千人	8,883	8,741	8,575	9,700	10,000	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)												
国内に居住する人に本市の魅力を知らせてもらう。						上位成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (目標)	R3年度 (目標)
コンベンション事業数						事業	7	6	5	9	10	
ロケ誘致件数						件	27	25	21	35	40	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円	46		31		31		31		46	
	一般財源	千円	162		120		141		201		163	
	事業費計(A)	千円	208		151		172		232		209	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			消耗品	41	燃料費	7	燃料費	22	消耗品	17	消耗品	18
			燃料費	17	修繕料	70	修繕料	74	燃料費	31	燃料費	27
修繕料			76	手数料	12	手数料	13	修繕料	106	修繕料	87	
手数料			12	自動車保険料	41	自動車保険料	41	手数料	13	手数料	14	
自動車保険料			41	自動車重量税	21	自動車重量税	21	自動車保険料	41	自動車保険料	42	
自動車重量税			21					自動車重量税	21	自動車重量税	21	
正規職員従事人数	人	2		2		2		2		2		
のべ業務時間	時間	192		190		190		190		190		
人件費計(B)	千円	733		726		725		725		725		
トータルコスト(A)+(B)	千円	941		877		897		957		934		

事務事業名	観光PR車維持管理事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	担当係	観光立市推進係
-------	-------------	-----	---------	-----	---------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	各種まつりの準備や観光PRイベントに際し、物品の運搬等で車両の手配に苦慮していたため、平成21年度にトラックを購入し、広告ラッピングを施しイベント等での活用を始めた。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	高速バスの運行、北関東自動車道の開通により、佐野市は以前より訪れやすい街になっている。市外における観光PRはますます重要になっている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	市が行う観光PRに活用するため、結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	市が行う観光PRに活用するため、妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	対象・意図ともに妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	車の維持管理なので余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費・人件費ともに維持管理に必要最低限の事業費であり、削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めない	理由・改善案	市の観光誘客を行うために必要な車両であり、観光客の増加に伴う経済効果(経済波及効果)の受益者は全市民であるため。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	車両の維持管理は必要であり、休止・廃止はできない。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<p>廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		三轟山大文字焼き開催支援事業				評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり				事業区分	担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課
	政策	1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり					担当係	観光事業係	担当課長名	高橋 利彰	
	施策	1 ひとを集める観光戦略の展開					新規事業・継続事業	継続事業			
	基本事業	1 積極的な誘客を図る観光戦略の推進					実施計画事業・一般事業	一般事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	10711	一般	7	1	4	三轟山大文字焼き開催支援事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成28年度～ 年度		根拠法令 条例等	なし					
						市単独事業・国県補助事業	市単独事業				
						任意的事業・義務的事業	任意的事業				
						実施方法	直営				
						事業分類	支援事業				
						リーディングプロジェクト	該当				
						市長市政公約	該当なし				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)						
三轟山大文字焼き運営委員会に対し大文字焼きの開催費用を補助するとともに、佐野市の共催により、まつりを安定的・発展的に実施する。 ※三轟山大文字焼き運営委員会は、三轟山大文字焼きを開催することにより、佐野市に住む人々が歴史と文化の香り高いまちとしての誇りを再認識することにより、ふるさと意識の高揚と郷土愛を育み、地域の活性化及び魅力を広くPRすることを目的として、関係する機関及び地域の関係団体等から選出された委員をもって構成されている。	(市の活動) 大文字焼きのPR、開催支援、作業ボランティアの呼びかけ、補助金の交付 (三轟山大文字焼き運営委員会) ・運営委員会の開催 ・実行委員会の組織 ・実行委員会の開催 ・点火場整備(下草刈り等) ・点火場準備 ・8/15イベント実施予定だったが天候の影響により中止						
	活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	運営委員会・実行委員会開催回数	回	3	2	3	1	3
	まつり開催回数	回	1	1	0	0	1

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

市民及び市外からの観光客(関東地方及び新潟県+福島県:総務省10/1人口推計) (補助対象団体) 三轟山大文字焼き運営委員会	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	市民及び市外からの観光客	千人	47,397	47,469	47,533		
	運営委員会・実行委員会	団体	1	1	1	1	1

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

①市民に対して市の魅力を再認識していただくとともに、市外からの観光客に対して市の魅力を発信する。 ②まつりを安定的・発展的に実施してもらう	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	佐野市観光協会ホームページアクセス数	千件	178	279	276	290	300
	来場者数	人	0	4,500	0	0	4,500

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

本市の魅力を知らしてもらい、来訪、宿泊してもらう。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	観光客入込数	千人	8,883	8,741	8,575	9,700	10,000

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円		1,100	1,300	1,000	0	1,000				
	事業費計(A)	千円		1,100	1,300	1,000	0	1,000				
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			補助金	1,100	補助金	1,300	補助金	1,000	補助金	0	補助金	1,000
	人件費	人	2		2		2		2		2	
のべ業務時間	時間	200		200		200		50		200		
人件費計(B)	千円	763		764		763		191		763		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,863		2,064		1,763		191		1,763		

事務事業名	三轟山大文字焼き開催支援事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	担当係	観光事業係
-------	----------------	-----	---------	-----	---------	-----	-------

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	三轟山大文字焼きは平成6年から始まり、平成27年度に第22回を迎えた。これまで地元団体が主体となって実施してきたが、実行委員会の高齢化・弱体化により今後の実施が危ぶまれる状態にある。平成28年度より、市が共催することにより、市の伝統的な行事として定着しているまつりを後世に引き継いでいくことができるとともに、観光誘客を図ることができる。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	国の観光立国宣言により、県及び市の観光戦略が大きく変化し、各市でも観光誘客事業に重点を置いた施策を行っており、今後ますます加速するものとする。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	平成24年6月、地元実行委員会から市へ対してまつりへの協力依頼があり、この年は市の協力により実施した。その後、中止したい旨の協議があったが、平成25年に新たな実行委員会を組織し、また市が全面的に協力することで今日まで続いできた。

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持のため対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	佐野市を広くPRすることができ、観光誘客が図れる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	市としての観光誘客が図れるため、補助することは妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	佐野市を広くPRするための事業であるため。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	市内外に魅力を知ってもらい、更に関心を持ってもらうことで向上の余地がある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
	*類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	必要最低限の事業費であり、削減の余地はない。
	⑦公平性評価 受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	本市の伝統的な夏の誘客イベントであり、受益者は不特定多数の市民および観光客であるため。	
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
三轟山点火場が使用できなくなったとき。または、実施団体が解散したとき。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		どまんなかフェスタ佐野開催支援事業				評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり				担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課
	政策	1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり				担当係	観光事業係	担当課長名	高橋 利彰	
	施策	1 ひとを集める観光戦略の展開				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 積極的な誘客を図る観光戦略の推進				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	事業区分				
	10683	一般	7	1	4	市単独事業・国県補助事業				
	予算細事業名 どまんなかフェスタ佐野開催支援事業					市単独事業				
事業計画	事業期間	平成20年度～ 年度		根拠法令 条例等	なし					
	単年度繰り返し	任意の事業・義務の事業								
	実施方法								直営	
事業分類								支援事業		
リーディングプロジェクト								該当		
市長市政公約								該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
どまんなかフェスタ佐野実行委員会に交付金を交付し、どまんなかフェスタ佐野の開催を支援している。 ※どまんなかフェスタ佐野実行委員会は、どまんなかフェスタ佐野開催のために関係団体、参加団体等により構成された組織。	(市の活動) どまんなかフェスタ佐野実行委員会に交付金の支出、イベント開催に対する運営支援を行った。 (どまんなかフェスタ佐野実行委員会の活動) 実行委員会開催、出展者等との連絡調整、会場準備、当日の運営等。 令和元年11月3日「どまんなかフェスタ佐野2019」は、令和元年東日本台風の影響で中止。					
活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
会議開催回数	回	1	1	1	1	1
実行委員数	人	128	127	128	128	128
広報チラシ配布数	枚	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

① 市民 ② 各参加団体 ③ 観光客 (交付対象団体) どまんなかフェスタ佐野実行委員会	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	市民の数(人口)	人	120,018	119,348	118,450	117,706	
	参加団体数	団体	114	103	0	80	100
	観光客入込数	千人	8,883	8,741	8,575	9,700	10,000

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

このイベントに参加していただき、各団体活動の周知・活性化を促す。また、来場されたお客様には、地元の特産品・伝統文化に触れていただく機会とする。	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	来場者数	人	46,000	46,000	0	46,000	46,000
	佐野市観光協会ホームページアクセス数	千件	178	279	276	290	300

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

本市の魅力を知ってもらい、来訪、宿泊してもらおう。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	観光客入込数	千人	8,883	8,741	8,575	9,700	10,000

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円		3,900	3,900	205	3,800	3,800				
	事業費計(A)	千円		3,900	3,900	205	3,800	3,800				
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			交付金	3,900	交付金	3,900	交付金	205	交付金	3,800	交付金	3,800
	人件費	人	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
のべ業務時間	時間	500	500	300	500	500	500	500	500	500	500	
人件費計(B)	千円		1,908	1,911	1,145	1,908	1,908	1,908	1,908	1,908	1,908	
トータルコスト(A)+(B)	千円		5,808	5,811	1,350	5,708	5,708	5,708	5,708	5,708	5,708	

事務事業名	どまんなかフェスタ佐野開催支援事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	担当係	観光事業係
-------	-------------------	-----	---------	-----	---------	-----	-------

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成20年度より、「どまんなかフェスタ」と「佐野市産業まつり」を統合し、新たに「どまんなかフェスタ佐野」となった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	「どまんなかフェスタ2008」より経費削減や費用対効果を考慮し、事業内容の検討や参加者からの出展料負担を新たに行った。 ※平成20年度～平成22年度は県から「わがまち自慢交付金」を受けている。 ※平成25年度～平成27年度は県から「わがまち協働推進事業」の交付金を受けている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	会場を田沼グリーンスポーツセンターか所に固定せず、他会場での開催を要望する声があった。 平成27年度より、利益の発生する出展者の出展料が値上げになったが、市内の産業を啓発するイベントなので、出展料値上げには反発があった。しかし、事業費を確保するためには出展料の値上げはやむを得ない。平成29年度にも運営が厳しい状況になったため値上げした。

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(コストの見直し)	事業経費の削減
受益者負担の適正化	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	市内外への佐野市のPRイベントして、政策体系と結び付く。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	委ねられる・委ねられる可能性がある	理由・改善案	大きなイベントに交付金を交付することはやむをえないが、市が事務局として開催するよりも、各団体・機関により運営されることが、まつり運営としては理想と思われる。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	市をPRする場であるため妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	イベント内容・レイアウトなどの見直しや、地域交流を促進させる企画、「さのブランド」をPRする企画など様々な点について考慮する必要がある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	
	* 類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	事業費の削減余地がある	理由・改善案	【事業費】イベント・事業内容を創意工夫することにより、削減の可能性はある。 【人件費】事務局としての位置づけがある以上は、削減余地は無い。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担を見直す必要がある	理由・改善案	参加団体については出展料を徴収しているが、参加内容(公的活動・福祉関係など)によっては免除している。免除の規定や出展料の額については、今後も参加者の意見・要望などを考慮しながら調整する必要がある。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
類似事務事業がなく、佐野市をPRする場を失うことになるので、事業の休止・廃止はマイナスである。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1)今後の事務事業の方向性		(2)改革・改善による期待効果	(3)改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																								
事業のやり方改善(コストの見直し)	受益者負担の適正化	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。	実行委員会等で参加団体への説明を十分に行い、変更点への理解を得る必要がある。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×		低下		×	×
				コスト																							
		削減	維持	増加																							
成果	向上	○																									
	維持			×																							
	低下		×	×																							
経費削減に向けて事業内容を再検討するとともに、受益者負担を考慮した出展料設定を行っていく。																											

事務事業名		スプリングフラワーフェスティバル開催支援事業				評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり				担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課
	政策	1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり				担当係	観光事業係	担当課長名	高橋 利彰	
	施策	1 ひとを集める観光戦略の展開				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 積極的な誘客を図る観光戦略の推進				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	事業区分				
	10715	一般	7	1	4	市単独事業・国県補助事業				
	予算細事業名					市単独事業				
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成元年度～ 年度		根拠法令 条例等	任意の事業・義務の事業				
					なし	実施方法				
						事業分類				
						リーディングプロジェクト		該当		
						市長市政公約		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
佐野スプリングフラワーフェスティバル実行委員会を設置、同委員会へ交付金を支出する。同委員会がイベントを主催する。 【イベント概要】日本有数の規模でかたくりの花が群生する「万葉自然公園かたくりの里」での「かたくりの花まつり」をメインに春の花をテーマにしたスプリングフラワーフェスティバルを開催することにより、本市の美しい自然を市内外に紹介し、誘客を図る。			(市の活動) 佐野スプリングフラワーフェスティバル実行委員会へ交付金支出(2,000,000円) (実行委員会の活動) 佐野スプリングフラワーフェスティバル実行委員会開催 佐野スプリングフラワーフェスティバル2020:新型コロナウイルスの影響により中止 かたくりの花まつり:新型コロナウイルスの影響により中止(令和2年3月13日(金)～3月29日(日))					
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)	
会議・打合わせ回数		回	6	6	7	6	6	
広報・宣伝回数		回	10	10	2	10	10	
準備作業		回	12	12	12	12	12	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)								
① 市民、観光客 ② 観光誘客の推進		対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
		市民の数(人口)	人	120,018	119,348	118,450	117,706	
		観光客入込数	千人	8,883	8,741	8,575	9,700	10,000
目的								
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)			成果指標					
多くの市民・観光客に佐野の春の花をたのしんでもらう。			単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
				3,138	4,128	0	3,000	3,000
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)								
本市の魅力を知ってもらい、来訪、宿泊してもらおう。			上位成果指標					
			単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
				8,883	8,741	8,575	9,700	10,000

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	1,600		2,200		2,000		1,900		1,900	
	事業費計(A)	千円	1,600		2,200		2,000		1,900		1,900	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			交付金	1,600	交付金	2,200	交付金	2,000	交付金	1,900	交付金	1,900
	人件費	人	7		7		7		7		7	
のべ業務時間	時間	280		280		280		280		280		
人件費計(B)	千円	1,068		1,070		1,068		1,068		1,068		
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,668		3,270		3,068		2,968		2,968		

事務事業名	スプリングフラワーフェスティバル開催支援事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	担当係	観光事業係
-------	------------------------	-----	---------	-----	---------	-----	-------

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和62年に市がかたくりの群生を天然記念物に指定し約10haを「万葉自然公園かたくりの里」として整備、平成元年から「かたくりの花まつり」を中心に城山公園桜のライトアップ、梅林公園イベント等、春の花をテーマにスプリングフラワーフェスティバルを開催している。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	かたくりの花の開花期間が短くなってきており、花の数も減少している。また、当時は、かたくりの花を観光できる場所が少なかったことから多くの来場者があったが、近年ではそうした場所も増えてきており、来場者も減少傾向にある。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	人口減少、高齢化等に伴い、地元町谷町会からは、駐車場警備等の人員確保が難しくなっている旨の意見がある。

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	佐野市をPRするイベントとして開催しており、政策体系と結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	市が「かたくりの里」の管理事業を行っているため、事務事業も市が実施するのは妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	市民を含めた多くの観光客にかたくりの花を楽しんでもらうとともに、観光誘客を図ることが目的であるため。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	「かたくりの里」にイベント事業を集約させたことで、かなりの効率化が図れたため、これ以上の成果の余地はないと思われる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業名	
	⑥類似事務事業はない	理由・改善案	*類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑦事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	必要最小限の予算であるため。
	⑧削減の余地はない	理由・改善案	
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	本市の春の花をPRすることで観光誘客が図られており、受益者は不特定多数の観光客であるため。
	⑧受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
	本市の観光誘客にかたくりの里が必要でなくなったとき。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		さの秀郷まつり開催支援事業				評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり				担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課
	政策	1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり				担当係	観光事業係	担当課長名	高橋 利彰	
	施策	1 ひとを集める観光戦略の展開				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 積極的な誘客を図る観光戦略の推進				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
	10716	一般	7	1	4	さの秀郷まつり開催支援事業				
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事业		任意的事業	
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成5年度～	年度	根拠法令 条例等	なし				
	実施方法		実施方法		支援事業		直営		該当	
	リーディングプロジェクト		リーディングプロジェクト		該当		該当なし		該当なし	

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
さの秀郷まつり運営委員会に補助金を交付し、さの秀郷まつりの運営を委託している。 ※さの秀郷まつり運営委員会は、さの秀郷まつりを円滑に運営するために、市内各団体、佐野商工会議所、(一社)佐野市観光協会、市職員等で組織している。 ※さの秀郷まつり実行委員会は、運営委員会委員から推薦されたもので組織され、各イベント部会を組織し、祭り実施に向けての準備、当日の祭り運営を行う。		(市の活動)運営委員会に補助金を交付する。(事業費の内訳)7,440千円 (運営委員会の活動)まつり開催のため、検討委員会、運営委員会、実行委員会を開催する。 (実行委員会の活動)各イベント部会を組織し、協賛依頼、各種申請、広報宣伝、会場設営、当日の各種イベント運営、会場清掃、片付け等を行う。					
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
会議開催回数		回	30	30	30	2	20
現場作業		日	60	60	60	0	40

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

市民及び市外の観光客		対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
(補助金対象団体) さの秀郷まつり運営委員会		市民及び近隣住民	人	350,000	350,000	350,000	350,000	350,000

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的		成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
①市民の活動の場とする。 ②市民の郷土愛を育む。 ③中心市街地の活性化。 ④商工業の活性化を図り、産業の振興に寄与する。 ⑤佐野市のPR		まつり来観客	人	140,000	150,000	160,000	0	90,000

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

本市の魅力を知ってもらい、来訪、宿泊してもらおう。		上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
		市の観光入込客数	人	8,883	8,741	8,575	9,700	10,000
		テレビ(全国ネット)が取り上げた件数	事業		12	16	20	25

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳		H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	7,440	7,440	7,440	0	5,000					
	事業費計(A)	千円	7,440	7,440	7,440	0	5,000					
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費		
			補助金	7,440	補助金	7,440	補助金	7,440	補助金	0	補助金	5,000
	人件費	人	130	130	130	3	90					
のべ業務時間	時間	2,700	2,700	2,700	80	1,800						
人件費計(B)	千円	10,303	10,317	10,301	305	6,867						
トータルコスト(A)+(B)	千円	17,743	17,757	17,741	305	11,867						

事務事業名	さの秀郷まつり開催支援事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	担当係	観光事業係
-------	---------------	-----	---------	-----	---------	-----	-------

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成5年に、それまでの七夕まつりを引き継ぐ形で開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	経済の悪化に伴い、駅前商店街が中心で行っていた七夕まつりを引き継いだ。開始当初は市民総参加をうたい、多くの市民を動員したが、経済不況による資金不足により参加できるイベントを縮小している。第16回(平成20年度)から、まつりの目玉として秀郷流流鏝馬を導入している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	伝統を引き継ぎつつ、マンネリ化しないようなイベントを企画する必要がある。より多くの市民が関わられるようなまつりにすることが重要。大勢の方が清掃に参加し、行政と市民の協働が感じられた。

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	民間団体と連携を強化し、意見やアイデアを取り入れ来場者増に努めた。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 本市に縁のある秀郷流流鏝馬を柱とした伝統的な催事や市民団体によるステージイベント等を行い、市民の郷土愛を醸成する。また、さのまる等、本市の新しい魅力を活かしたイベントを行い、多様な層の観光誘客を図るため、政策体系と結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
委ねられる・委ねられる可能性がある	理由・改善案 市主体で事業を行っているが、現在、各市民団体に一部イベント等を委託している。今後も、事業目的の一つである市民参加の観点から、委ねられるイベントについては市民団体に委ねていく。	
③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？		
対象を見直す必要がある	理由・改善案 更なる市民団体との協働が図れれば、事業効果が高まる可能性がある。	
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がかなりある	理由・改善案 市民との協働において、成果向上の余地がある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
類似事務事業があり統合・連携できる・している	理由・改善案 類似事務事業名 どまんなかフェスタ・くず原人まつり・たぬまふるさと祭り それぞれ、地域に根付いた祭りであり統合は難しいが連携は出来る。	
*類似事務事業があれば、名称を記入		
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
削減の余地はない	理由・改善案 市の補助金だけでなく協賛金を募って運営されているが、現在の事業規模から削減することは出来ない。ただし、まつり内容を縮小して実施する場合は削減できる。	
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 観光客・市民全体を対象としているので受益者は特定されず、負担を求める必要がない。	
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	・佐野市を全国にPRし、また、市民との協働をする必要が無くなったとき。 ・事業主体が民間団体になったとき。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) *評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 事務局に市民団体を入れる。 新規イベントの開催、既存イベントのブラッシュアップ。 当日運営にボランティアスタッフの更なる動員。 他祭り実行委員の実行部隊との協働。 協賛してもらうための新たなアイデア。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	行政主体では限界があり、更なる市民との協働が必要となってくる。そのためには市民に祭り意義等の啓発が重要である。 ボランティアスタッフ等を起用し、啓発を兼ねて効率的な運営を行い、将来的には、行政市民一体となった祭り運営を行うことにより、成果向上・コスト削減につながる。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		さの新春うんめえもんまつり開催支援事業				評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり				担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課
	政策	1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり				担当係	観光事業係	担当課長名	高橋 利彰	
	施策	1 ひとを集める観光戦略の展開				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 積極的な誘客を図る観光戦略の推進				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
	10710	一般	7	1	4	さの新春うんめえもんまつり開催支援事業				
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成28年度～ 年度		根拠法令 条例等	なし				
							市単独事業・国県補助事業		市単独事業	
						任意的事業・義務的事業		任意的事業		
						実施方法		直営		
						事業分類		支援事業		
						リーディングプロジェクト		該当		
						市長市政公約		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
さの新春うんめえもんまつり実行委員会に対し、運営費の一部を補助することにより、まつりを安定的・発展的に実施してもらう。 これにより市の魅力を広くPRし、観光誘客を促進するとともに、まちなかの活性化を図る。 実行委員会事務局 佐野商工会議所経営支援課 市関係課 観光立市推進課、産業立市推進課、都市計画課、都市ブランド推進室		(市の活動)開催にあたり補助金の支出 (実行委員会)R1.9.19、R1.10.16、R1.11.25、R1.12.17、R2.1.31の計5回実施 各種申請、協賛依頼、広報宣伝、会場設営、当日のイベント運営、会場清掃、片付け等を行う。					
活動指標		単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)
実行委員会開催回数		回	4	5	5	5	5
まつり開催回数		回	1	1	1	1	1

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

① 市民及び市外からの観光客 (関東地方及び新潟県+福島県:総務省10/1人口推計)	対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)
	関東地方と近県の人口	千人	47,397	47,469	47,533		
② さの新春うんめえもんまつり実行委員会 (補助対象団体)	実行委員会	団体	1	1	1	1	1

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

① 市民に対して市の魅力を再認識していただくとともに、まちなかの活性化を図る。併せて、市外からの観光客に対して市の魅力を発信する。 ② まつりを安定的・発展的に実施してもらう。	成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)
	佐野市観光協会ホームページアクセス数	千件	178	279	276	290	300
	来場者数	人	12,000	18,000	20,000	20,000	20,000

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

本市の魅力を知らてもらい、来訪、宿泊してもらう。	上位成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)
	市の観光入込客数	千人	8,883	8,741	8,575	9,700	10,000
	テレビ(全国ネット)が取り上げた件数	事業		12	16	20	25

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	100		200		200		200		200	
	事業費計(A)	千円	100		200		200		200		200	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			補助金	100	補助金	200	補助金	200	補助金	200	補助金	200
	人件費	人	8		8		8		8		8	
	のべ業務時間	時間	90		90		90		90		90	
	人件費計(B)	千円	343		344		343		343		343	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	443		544		543		543		543	

事務事業名	さの新春うんめえもんまつり開催支援事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	担当係	観光事業係
-------	---------------------	-----	---------	-----	---------	-----	-------

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	佐野市への観光客は、厄よけ大師への参拝客等により1月が平月の3倍の集客である。新春を祝うまつりが存在していなかったため、平成27年1月から民間によるまつりが実施されているが、観光誘客を更に推進するため、まつりを安定的・発展的に実施してもらう必要がある。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	国の観光立国宣言により、県及び市の観光戦略が大きく変化し、各市でも観光誘客事業に重点を置いていた施策を行っており、今後ますます加速するものと考えられる。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	人件費の削減

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	佐野市をPRすることにより観光誘客が図れるとともに、まちなかの活性化につながる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	市としての観光誘客、まちなかの活性化を図るため、費用の一部を補助することは妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	対象・意図とも妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がかなりある	理由・改善案	市民との協働において、成果向上の余地がある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業があり統合・連携できる・している	理由・改善案	類似事務事業名 秀郷まつり・どまんなかフェスタ・葛生原人まつり・たぬまふるさと祭り それぞれ、地域に根付いた祭りであり、統合は難しいが連携は出来る。 *類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	人件費の削減余地がある	理由・改善案	人件費については、民間の協力を得ることにより削減の可能性はある。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	市の観光誘客及びまちなか活性化を図るため事業費の一部を補助するものである。また観光客の増加による経済効果(経済波及効果)の受益者は全市民であるため。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 佐野市のPRが十分に図られ、また、まちなかが活性化し、まつりを実施する必要がなくなったとき。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																				
事業のやり方改善(成果向上の見直し) *評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 当日運営にボランティアスタッフの更なる動員を図る。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>成果維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上	○			成果維持			×	低下		×	×	ボランティアスタッフ等を起用し、啓発を兼ねて効率的な運営を行い、行政市民一体となった祭り運営を行うことにより、成果向上・コスト削減につながる。
	コスト																					
	削減	維持	増加																			
向上	○																					
成果維持			×																			
低下		×	×																			

事務事業名		観光立市推進事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課
	政策	1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり					事業区分	担当係	観光立市推進係	担当課長名	高橋 利彰
	施策	1 ひとを集める観光戦略の展開						新規事業・継続事業	継続事業		
	基本事業	1 積極的な誘客を図る観光戦略の推進						実施計画事業・一般事業	一般事業		
短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名	市単独事業・国県補助事業		市単独事業			
予算科目	10722	一般	7	1	4	観光立市推進事業	任意的事業・義務的事業	任意的事業			
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成21年度～ 年度		根拠法令 条例等	なし	実施方法	直営			
							事業分類	計画策定・管理事業			
							リーディングプロジェクト	該当			
							市長市政公約	該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和 1 年度実績(令和 1 年度に行った主な活動内容)						
(観光立市推進基本計画の推進) 地域経済の活性化と活力にあふれた地域社会の創造を目指し、市をあげて観光立市の実現に向けた計画を策定推進する。 (計画に基づく事業の展開) 計画に沿った事業展開を実施するための調査、研究及び事業の全庁的な進捗管理を行う。	・観光関連事業者との情報交換						
	活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	観光立市庁内推進委員会開催回数	回	2	1	1	1	2
	観光立市推進基本計画策定委員会	回	2	-	-	-	2
	調査研究件数	件	1	1	1	1	1

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

職員(庁内推進委員会委員・部会員) 市民(計画策定委員)	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	職員	人	14	14	14	14	14
	市民	人	11	11	11	11	11

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

市民の意見が反映された計画を策定する。 計画に示された方針・方向性が適正に実施される。	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	計画策定進捗率	%	100	-	-	-	100

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

国内に居住する人に本市の魅力を知ってもらおう。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	コンベンション事業数	事業	7	6	5	9	10
	ロケ誘致件数	件	27	25	21	35	40

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	419		389		194		1,207		563	
	事業費計(A)	千円	419		389		194		1,207		563	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			報償費	45	旅費	75	旅費	41	旅費	90	報償費	70
			旅費	23	消耗品費	59	消耗品費	69	消耗品費	73	旅費	86
消耗品費			36	印刷製本費	163	印刷製本費	35	印刷製本費	498	消耗品費	74	
印刷製本費			83	業務委託料	92	業務委託料	50	修繕料	330	印刷製本費	333	
検査委託料			232					業務委託料	215			
正規職員従事人数	人	3		3		3		3		3		
のべ業務時間	時間	400		300		300		300		400		
人件費計(B)	千円	1,526		1,146		1,145		1,145		1,526		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,945		1,535		1,339		2,352		2,089		

事務事業名	観光立市推進事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	担当係	観光立市推進係
-------	----------	-----	---------	-----	---------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成21年の市長マニフェストにおいて、重点項目に「観光誘客の推進」、「観光施設の充実と新たな観光拠点の整備」が掲げられた。また、佐野市総合計画中期基本計画のリーディングプロジェクトとして、「観光立市の推進」が位置づけられた。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	・国は平成18年「観光立国推進基本法」を制定し、平成19年同法施行、「観光立国推進基本計画」を策定、平成20年には「観光庁」が設立された。 ・栃木県は、「観光とちぎ」づくりを推進するため、平成18年に「観光立県とちぎ推進本部」を設置し、重点的な取組として「フィルムコミッション」、「観光基盤整備」を掲げ推進している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	第3次佐野市観光立市推進基本計画に基づく事業の実績等を検証するため、佐野市観光立市市内推進委員会を実施した。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	観光立市推進基本計画の方針・方向性に、本市の観光情報のPR促進が定められており、この方針達成に向けて、この事業により進行管理を行うため、意図することは結果に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	策定した計画は、市が推進する必要がある。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	観光立市の推進は、行政と市民が協働・役割分担しながら行うものなので、対象と意図は合っている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	観光立市は「住んでよし、訪れてよしのまちづくり」なので、「観光立市」の意義を職員・市民に周知することで、理解を深めてもらう。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	計画はひとつであり、類似する事業はない。 *類似事務事業があれば、名称を記入
	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	必要最小限の事務経費しか予算計上しておらず、削減する余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	観光立市を推進することは、最終的には全市民に恩恵を及ぼすものである。そのため、この事業の受益者は全市民となるため、別途受益者負担を求める事業ではない。
	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	まちづくりの基本方針が観光立市でなくなったとき。		
総合 評価				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<p>廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		オカリナの里づくり支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課
	政策	1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり					担当係	観光事業係	担当課長名	高橋 利彰	
	施策	1 ひとを集める観光戦略の展開					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 積極的な誘客を図る観光戦略の推進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	10567	一般	7	1	2	オカリナの里づくり支援事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成10年度～	年度	根拠法令 条例等	なし					
	実施方法		直営		事業分類		支援事業				
	リーディングプロジェクト		該当		市長市政公約		該当なし				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)												
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)						令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)						
オカリナの里づくり推進委員会へ補助金を支出。事務局は佐野市あそ商工会。毎年2月上旬にオカリナ演奏会を開催。その他、オカリナ製作教室などを随時開催。オカリナ愛好家の普及とオカリナの里としての地域振興を目的とする。						(市の活動) 推進委員会出席、演奏会の運営、演奏会の市後援名義手続き。 (委員会の活動) 推進委員会(5回)、演奏会、反省会、オカリナ製作教室を開催。第25回オカリナ演奏会は、2月1日に葛生あくとプラザにて開催。						
活動指標						単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)	
補助金交付手続						件	1	1	1			
会議・演奏会開催						回	7	7	7			
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)												
市民、オカリナ愛好家						対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)
(支援対象団体) オカリナの里づくり推進委員会						市民の数(人口)	人	120,018	119,348	118,450		
						委員会会員数	人	19	17	16		
						市内小学校	校	26	26	26		
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)												
オカリナの里としての知名度を向上させ、地域振興・観光資源として活用する。						成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)
来場者						人	500	500	500			
出演者						組	12	9	7			
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)												
本市の魅力を知ってもらい、来訪、宿泊してもらおう。						上位成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)
市の観光入込客数						千人	8,883	8,741	8,575			
テレビ(全国ネット)が取り上げた件数						事業		12	16			

(2) 総事業費の推移・内訳

投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	136	100	50					
	事業費計(A)	千円	136	100	50	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			補助金	136	補助金	100	補助金	50		
	正規職員従事人数	人	1	1	1	0				
のべ業務時間	時間	20	15	10	0					
人件費計(B)	千円	76	57	38	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	212	157	88	0	0				

事務事業名	オカリナの里づくり支援事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	担当係	観光事業係
-------	---------------	-----	---------	-----	---------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成10年度、田沼町商工会青年部が中心となり、オカリナの里づくり推進委員会が発足。それを機に、当委員会に補助金を交付。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	少しずつだが、オカリナの周知が図られている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	活動の拠点である白岩町所在「風工房」については、個人所有となった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
目的(対象・意図)再設定	演奏会の案内チラシを市内観光施設や公民館に設置し、多方面からの演奏会来場者数の増加を図った。
事業のやり方改善(コストの見直し)	
受益者負担の適正化	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びつきが見直しの余地がある	理由・改善案	観光誘客を図る観光資源のひとつとして風工房の活用も含めて始まったが、現在のオカリナの普及・演奏のみでは観光誘客に結びつけるのは難しい部分がある。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	委ねられる・委ねられる可能性がある	理由・改善案	事務事業自体は佐野市あそ商工会が事務局を担っており、市としてはその事業活動を補助しているが、今後は段階的に自主事業としてもらうことを働きかける。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	対象を見直す必要がある	理由・改善案	
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	現在は演奏会をメインとした活動であるが、体験メニューとして観光誘客につなげることも考えられる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	
	*類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	事業費・人件費共に削減の余地がある	理由・改善案	段階的に補助金を削減し、自主事業として実施してもらう。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担を見直す必要がある	理由・改善案	演奏会やオカリナ製作教室などが一部の人にしか知られない状況がある。広く活動内容を周知し、より多くの人の参加を呼びかける必要がある。また、参加負担金も今後検討が必要になってくる。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) オカリナの里づくり推進委員会の解散、または自主事業としての実施が可能となったとき。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業終了	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		「本物の出会い 栃木」観光キャンペーン参画事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課
	政策	1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり					事業区分	担当係	観光立市推進係	担当課長名	高橋 利彰
	施策	1 ひとを集める観光戦略の展開						新規事業・継続事業	継続事業		
	基本事業	1 積極的な誘客を図る観光戦略の推進						実施計画事業・一般事業	一般事業		
短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名	市単独事業・国県補助事業		市単独事業			
予算科目	10731	一般	7	1	4	「本物の出会い 栃木」観光キャンペーン参画事業	任意的事業・義務的事業	任意的事業			
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成10年度～ 年度		根拠法令 条例等	なし	実施方法	直営			
							事業分類	参画事業			
							リーディングプロジェクト	該当			
							市長市政公約	5-③-1			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)					令和 1 年度実績(令和 1 年度に行った主な活動内容)						
「本物の出会い栃木」観光キャンペーン推進協議会に会員として負担金を支出している。また、協議会の主催する会議、イベント、キャンペーンに参加している。 ※「本物の出会い栃木」観光キャンペーン推進協議会とは、栃木県への観光誘客の増大と定着及び観光産業の振興を図ることを目的として、県、市町村、観光関連団体等で構成している団体である。 平成26年3月25日より、「やすらぎの栃木路」共同宣伝協議会から「本物の出会い栃木」観光キャンペーン推進協議会に名称変更した。					(市の活動) 協議会に負担金250千円支出、会議への出席、広報宣伝物の作成協力、観光キャンペーン (協議会の活動) 会議の開催(協議会、県南地域分科会)、パンフレット作成、広報宣伝、イベント開催						
					活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
会議への出席回数	回	12	12	12	10	10					
事務局との打合せ回数	回	6	6	6	5	5					
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
関東地方及び近県住民 (1都6県+福島県+新潟県) (参画対象団体) 「本物の出会い 栃木」観光キャンペーン推進協議会					対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
					関東地方と近県の人口	千人	47,397	47,469	47,533		
					(総務省:人口推計10/1)						
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
栃木県への観光客の増加を図り、佐野市への観光誘客に結びつける。					成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
					観光客入込数	千人	8,883	8,741	8,575	9,700	10,000
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
国内に居住する人に、本市へ来訪してもらう。					上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
					広域での連携事業数	事業	14	14	8	14	14

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円		250	250	250	250	250	250	250	250	250
	事業費計(A)	千円		250	250	250	250	250	250	250	250	250
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			負担金	250	負担金	250	負担金	250	負担金	250	負担金	250
	人件	正規職員従事人数	人	3		3		3		3		3
費用	のべ業務時間	時間	800		800		800		800		800	
	人件費計(B)	千円	3,053		3,057		3,052		3,052		3,052	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	3,303		3,307		3,302		3,302		3,302	

事務事業名	「本物の出会い 栃木」観光キャンペーン参画事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	担当係	観光立市推進係
-------	-------------------------	-----	---------	-----	---------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成10年度以降、「やすらぎの栃木路共同宣伝事業」として、栃木県が中心となり全国キャンペーンを展開した。それを引き継ぐ形で「やすらぎの栃木路共同宣伝協議会」へ参画している。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	国の観光立国宣言により、県及び市の観光戦略が大きく変化し、各市でも観光誘客事業に重点を置き施策を行っている。 平成27年、平成28年の4月～6月の期間が、JR東日本重点販売地域に指定された。 平成30年4月～6月の期間栃木県内が、DESTINATIONキャンペーン(DC)開催地域に指定された。 (平成29年4月～6月の期間がブレDC、平成31年4月～6月の期間がアフターDC開催期間の為元年度はアフター)
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	広域連携観光を推進していくために参画している。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	事業主体との関係や市全体をPRする必要があるために、市が行うのが妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	対象・意図とも妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	対象エリアが広域にわたるため、戦略的に事業を推進することで成果の向上が見込める。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	各イベントへは、最少人数で対応している。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	観光客の増加による経済効果(経済波及効果)の受益者は全市民であるため。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 栃木県全体で行っている事業であり、各市の意向と県の方針による。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<p>廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					